

タイトル「**2021年度危機管理学部(公開用_コロナ対策版)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT2601		
科目名	危機管理基礎演習 I		
担当教員	河本 志朗		
対象学年	2年,3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	月 2		
講義室	1203	単位区分	必
授業形態	演習	単位数	1
科目大分類	専門		
科目中分類	専門基幹		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-E〔学識・専門技能〕専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 DP4-F〔探究力・課題解決力〕問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 DP3-H〔論理的思考力・批判的思考力〕理路整然とした思考を備えつつ、偏りを排除するための内省をもって、問題・課題を合理的に解決することができる。 DP4-I〔理解力・分析力〕文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 DP6-K〔表現力・対話力〕文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。 DP7-L〔協働力・牽引力〕集団的に課題解決を行う際に、自己の立場や責任を認識し、互いに集団の連帯を強めることができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 E1学識と専門技能－10% F1探究と論拠－30% H1論理的思考－10-% H2批判的思考－10% I1理解・分析と読解－20% K2オーラル・コミュニケーション－10% L1チームワーク－10%		
教員の実務経験	担当教員は山口県警察に21年間勤務し、その間3年間外務省に出向して在外公館でテロ対策などの警備業務を担当し、さらに3年間警察庁警備局に出向し海外安全対策やテロ対策に従事しました。その後、民間研究機関において18年間にわたり危機管理、テロ対策、組織犯罪対策の研究に従事しました。また、放射線医学総合研究所における「CRテロ初動セミナー」には毎年講師として参加し、大量破壊兵器テロへの対処について指導しています。授業においては、こうした実務経験と研究経験を融合させた観点から、特にテロ対策としての法執行、テロ対策と情報、大量破壊兵器テロへの対応について具体的に議論を進めていきます。（第4回・第5回・第9回）		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 2 進行期 ～ 3 発展期		
科目概要・キーワード	危機管理に関する多様な研究領域の中から、学生個人がそれぞれ1つの研究テーマを構築するために必要な、危機管理に関する基礎的な演習を行う。危機管理学の専門基幹科目における法		

	学科目や、専門展開科目における災害マネジメント領域、パブリックセキュリティ領域、グローバルセキュリティ領域、情報セキュリティ領域の4領域の危機管理系科目を担当する教員が担当し、それぞれの研究領域における研究の手法について指導する。ここでの学びが、3年次以降のゼミナールや危機管理特殊研究への、より専門的な研究活動へとつながる。本科目では、専門的研究のテーマ決定や研究計画の検討を中心におこなう。授業形態は演習形式により行います。なお、授業を補完・代替するためオンライン授業（ライブ配信型）を取り入れます。 ■キーワード 危機管理、研究テーマの構築、ゼミナールへの橋渡し				
授業の趣旨	■副題 3年次からのゼミナールにおいて、自らテーマを選択し、必要な情報を収集し、課題に論理的に取り組み、自信をもって研究内容を発表できるよう、研究遂行に必要な基礎的な力を身につけましょう。 ■授業の目的 危機管理に関する研究テーマの探求、研究手法の会得、研究成果の発表の各過程を通じて、①探求力・課題解決力、②学識・専門技能、③論理的思考力・批判的思考力、④理解力・分析力、⑤表現力・対話力の各コンピテンスの開発を行うことを目的とします。さらに⑥協働力・牽引力の開発も目指します。また、将来のキャリアを見据えた学びにおいて、⑥自己の特性を理解し社会に貢献しようとする姿勢、⑦倫理観と公共心、⑧省察力の各観点について自覚を持つことも望まれます。 ■授業のポイント テロ対策に関する専門書を使用して、テロ対策に関する様々な要素についてグループごとに研究を行い、研究した内容と発見された課題を発表します。発表された研究内容や設定された課題の妥当性について、また課題を解決するための取組に関して、履修者相互において討論を行い、研究内容及び議論の結果を報告書にまとめることを通じて、研究活動に必要な基礎的な力を培うことを目指します。				
総合到達目標	■旺盛な関心をもって危機管理学に関連するテーマにおける重要問題について研究してその本質を明らかにするとともに、課題を発見することができる。 ・テロ対策に関する課題図書を講読し、選択したテーマについてさらに内容を深く理解するために関係する文献を探して研究することができる。 ・関係する文献を読み込むことにより、選択したテーマの本質を把握するとともに課題を発見することができる。 ■研究の成果について、適切に表現するとともに討論することができる。 ・選択したテーマについてレジюмеを作成して発表することを通じて、研究成果を適切に表現することができる。 ・発表した内容に対する質疑応答を通じて、研究成果について相互に活発に討論することができる。 ■発見した課題を科学的な手法によって分析し、又は論理的に解釈することによって解決方法を考察することができる。 ・選択したテーマの研究の中で発見した課題について、発表の際に論点として提示して相互に討論することにより解決方策を考察することができる。				
成績評価方法	次の方法により成績を評価しますが、いずれの方法についてもポータル等を利用しての提出を求める場合があります。 ■研究発表（50%） （評価の観点）グループで研究したテーマの理解度、抽出された論点の妥当性、レジюмеの完成度等を評価します。 （フィードバック）授業時間中に講評します。 ■リアクションペーパー10回（50%） （評価の観点）発表された研究内容や論点に対して、自らの考えを自らの言葉で論理的に表現できているかについて評価します。 （フィードバックの方法）授業の時間中に講評します。				
履修条件	特にありません。				
履修上の注意点	授業中は、積極的に発言することを求めますので、そのためには十分な予習をしておいてください。グループ研究においては他のメンバーと積極的に協力し、自らの役割については責任をもって果たしてください。				
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td> ①授業テーマ テロリズムの本質 ②授業概要 テロリズムの中核的概念、戦争との違い、テロリズムの本質をとらえたうえでテロリズムへの対応に関して、研究の成果と課題について発表し、討論することができる（E1、F1、H1、H2、I1、K2、L1）。 ③予習（120分）教科書の第1章を精読したうえで、関連する文献を収集してテーマに関する研究を深めるとともに課題を発見し、発表グループはレジюмеにまとめて発表に </td></tr> </tbody> </table>	回	内容	1	①授業テーマ テロリズムの本質 ②授業概要 テロリズムの中核的概念、戦争との違い、テロリズムの本質をとらえたうえでテロリズムへの対応に関して、研究の成果と課題について発表し、討論することができる（E1、F1、H1、H2、I1、K2、L1）。 ③予習（120分）教科書の第1章を精読したうえで、関連する文献を収集してテーマに関する研究を深めるとともに課題を発見し、発表グループはレジюмеにまとめて発表に
回	内容				
1	①授業テーマ テロリズムの本質 ②授業概要 テロリズムの中核的概念、戦争との違い、テロリズムの本質をとらえたうえでテロリズムへの対応に関して、研究の成果と課題について発表し、討論することができる（E1、F1、H1、H2、I1、K2、L1）。 ③予習（120分）教科書の第1章を精読したうえで、関連する文献を収集してテーマに関する研究を深めるとともに課題を発見し、発表グループはレジюмеにまとめて発表に				

	備え、他のグループは質疑・討論に備える。 ④復習（120分）授業における発表と討論を振り返り、発表グループは研究発表と討論の内容を報告書にまとめ、他のグループはノートにまとめておく。
2	①授業テーマ テロリズムの変遷とネットワーク構造 ②授業概要 テロリズムの主体及び主義主張などの歴史的な変遷と近年に特徴的なネットワーク構造に関して、研究の成果と課題について発表し、討論することができる（E1、F1、H1、H2、I1、K2、L1）。 ③予習（120分）教科書の第2章を精読したうえで、関連する文献を収集してテーマに関する研究を深めるとともに課題を発見し、発表グループはレジュメにまとめて発表に備え、他のグループは質疑・討論に備える。 ④復習（120分）授業における発表と討論を振り返り、発表グループは研究発表と討論の内容を報告書にまとめ、他のグループはノートにまとめておく。
3	①授業テーマ テロリズムとマスコミ報道・メディア ②授業概要 テロリズムと報道・メディアとの関係、テロリズムをめぐるコミュニケーションの在り方などの問題に関して、研究の成果と課題について発表し、討論することができる（E1、F1、H1、H2、I1、K2、L1）。 ③予習（120分）教科書の第3章を精読したうえで、関連する文献を収集してテーマに関する研究を深めるとともに課題を発見し、発表グループはレジュメにまとめて発表に備え、他のグループは質疑・討論に備える。 ④復習（120分）授業における発表と討論を振り返り、発表グループは研究発表と討論の内容を報告書にまとめ、他のグループはノートにまとめておく。
4	①授業テーマ テロ対策としての法執行 ②授業概要 テロの未然防止及び取締りといったテロ対策において主要な役割を果たす法執行機関の活動について、研究の成果と課題について発表し、討論することができる（E1、F1、H1、H2、I1、K2、L1）。担当教員の警察官としての実務経験を踏まえて、法執行機関によるテロ対策について具体的な議論を進めます。 ③予習（120分）教科書の第4章を精読したうえで、関連する文献を収集してテーマに関する研究を深めるとともに課題を発見し、発表グループはレジュメにまとめて発表に備え、他のグループは質疑・討論に備える。 ④復習（120分）授業における発表と討論を振り返り、発表グループは研究発表と討論の内容を報告書にまとめ、他のグループはノートにまとめておく。
5	①授業テーマ テロ対策と情報 ②授業概要 テロリストやテロ組織の活動実態を明らかにする、情報機関の活動や国民に対する情報提供をめぐる問題について、研究の成果と課題について発表し、討論することができる（E1、F1、H1、H2、I1、K2、L1）。担当教員の警察官及び在外公館勤務の実務経験を踏まえて、テロ対策における情報活動について具体的に議論を進めます。 ③予習（120分）教科書の第5章を精読したうえで、関連する文献を収集してテーマに関する研究を深めるとともに課題を発見し、発表グループはレジュメにまとめて発表に備え、他のグループは質疑・討論に備える。 ④復習（120分）授業における発表と討論を振り返り、発表グループは研究発表と討論の内容を報告書にまとめ、他のグループはノートにまとめておく。
6	①授業テーマ テロ資金とその規制 ②授業概要 テロの未然防止と取締りの手段として国際的に進められてきたテロへの資金供与の防止の取組の現状について、研究の成果と課題について発表し、討論することができる（E1、F1、H1、H2、I1、K2、L1）。 ③予習（120分）教科書の第6章を精読したうえで、関連する文献を収集してテーマに関する研究を深めるとともに課題を発見し、発表グループはレジュメにまとめて発表に備え、他のグループは質疑・討論に備える。 ④復習（120分）授業における発表と討論を振り返り、発表グループは研究発表と討論の内容を報告書にまとめ、他のグループはノートにまとめておく。
7	①授業テーマ テロ対策における外交の役割 ②授業概要 テロ対策においては、国際協力や各国の国民に対する働きかけなどの外交的手段が欠かせないことから、そうした外交の役割について、研究の成果と課題について発表し、討論することができる（E1、F1、H1、H2、I1、K2、L1）。 ③予習（120分）教科書の第7章を精読したうえで、関連する文献を収集してテーマに関する研究を深めるとともに課題を発見し、発表グループはレジュメにまとめて発表に備え、他のグループは質疑・討論に備える。 ④復習（120分）授業における発表と討論を振り返り、発表グループは研究発表と討論の内容を報告書にまとめ、他のグループはノートにまとめておく。
8	①授業テーマ テロ対策の軍事的側面 ②授業概要 テロ対策においては、9.11後の米軍によるアフガン侵攻やシリアのイスラ

	ム国に対する軍事行動など、軍事的な手段が行使されることがあり、そうしたテロ対策における軍事的側面の持つ問題について、研究の成果と課題について発表し、討論することができる（E1、F1、H1、H2、I1、K2、L1）。 ③予習（120分）教科書の第8章を精読したうえで、関連する文献を収集してテーマに関する研究を深めるとともに課題を発見し、発表グループはレジュメにまとめて発表に備え、他のグループは質疑・討論に備える。 ④復習（120分）授業における発表と討論を振り返り、発表グループは研究発表と討論の内容を報告書にまとめ、他のグループはノートにまとめておく。
9	①授業テーマ 大量破壊兵器テロへの対応 ②授業概要 C（化学剤）B（生物剤）R（放射性物質）N（核）使用したテロの脅威が高まるとされる中で、そうしたテロの本質や対策について、研究の成果と課題について発表し、討論することができる（E1、F1、H1、H2、I1、K2、L1）。担当教員のCRテロ初動セミナーの講師としての実務経験を踏まえて、大量破壊兵器テロに関する議論を進めます。 ③予習（120分）教科書の第9章を精読したうえで、関連する文献を収集してテーマに関する研究を深めるとともに課題を発見し、発表グループはレジュメにまとめて発表に備え、他のグループは質疑・討論に備える。 ④復習（120分）授業における発表と討論を振り返り、発表グループは研究発表と討論の内容を報告書にまとめ、他のグループはノートにまとめておく。
10	①授業テーマ 国際法とテロリズム ②授業概要 テロが歴史的に犯罪として対処されている中で、国際社会は「訴追か引き渡し」の原則に基づいて個別の条約により対応してきたが、その過程と抱えている問題について、研究の成果と課題について発表し、討論することができる（E1、F1、H1、H2、I1、K2、L1）。 ③予習（120分）教科書の第10章を精読したうえで、関連する文献を収集してテーマに関する研究を深めるとともに課題を発見し、発表グループはレジュメにまとめて発表に備え、他のグループは質疑・討論に備える。 ④復習（120分）授業における発表と討論を振り返り、発表グループは研究発表と討論の内容を報告書にまとめ、他のグループはノートにまとめておく。
11	①授業テーマ テロリズムの将来 テロ対策の展望 ②授業概要 これまでのテロリズム及びテロ対策の歴史的経緯と現状を踏まえて今後テロリズムはどう変化するのか、それに対するテロ対策はどうあるべきなのかについて、研究の成果と課題について発表し、討論することができる（E1、F1、H1、H2、I1、K2、L1）。 ③予習（120分）教科書の第11章を精読したうえで、関連する文献を収集してテーマに関する研究を深めるとともに課題を発見し、発表グループはレジュメにまとめて発表に備え、他のグループは質疑・討論に備える。 ④復習（120分）授業における発表と討論を振り返り、発表グループは研究発表と討論の内容を報告書にまとめ、他のグループはノートにまとめておく。
12	①授業テーマ テロ対策に関するグループ研究① ②授業概要 これまでの授業で学んだテロ対策についての研究を踏まえて、各グループにおいてテロ対策に関する研究課題を選定し、研究計画を策定することができる。（E1、F1、H1、H2、I1、K2、L1）。 ③予習（120分）これまでの授業を振り返って、グループ研究の対象としてふさわしい研究課題の候補を複数選定したうえで、関連する文献を収集してとりまとめ、グループ研究の研究課題の選定のための討論に備える。 ④復習（120分）授業における討論において決定された役割分担に沿って、文献の収集と研究を行う。
13	①授業テーマ テロ対策に関するグループ研究② ②授業概要 前回の授業において決定されたグループ研究課題について、各人の研究成果について報告し、グループ内で研究方法・内容の妥当性について討論し、今後の研究計画を策定し、最終報告の構成案を検討することができる。（E1、F1、H1、H2、I1、K2、L1）。 ③予習（120分）前回の授業において決定された役割分担に沿って、文献の収集と研究を行った結果についてとりまとめるとともにグループ内での報告に備える。 ④復習（120分）授業に策定された研究計画と最終報告構成案に沿って、研究の仕上げにとりかかる。
14	①授業テーマ テロ対策に関するグループ研究③ ②授業概要 グループ研究課題に関する各人の研究成果について報告し、最終報告に向けた研究内容の構成を決定し、報告資料案を作成することができる。（E1、F1、H1、H2、I1、K2、L1）。 ③予習（120分）前回の授業において検討された最終報告の構成案を踏まえ、研究をと

	りまとめるとともに、報告資料案を作成する。 ④復習（120分）授業において作られた報告資料案にもとづいて、報告資料を作成する。
	15 ①授業テーマ テロ対策に関するグループ研究④ ②授業概要 グループ研究課題について、各グループによる研究の成果を発表し、履修者相互による討論を行うことができる。（E1、F1、H1、H2、I1、K2、L1）。 ③予習（120分）作成した報告資料について内容の正確性、表現の妥当性などについて点検し、最終報告に備える。 ④復習（120分）最終報告及び討論の内容について報告書にまとめる。
関連科目	演習系科目としては、自主創造の基礎1 RMGT1215、自主創造の基礎2 RMGT1216、危機管理基礎演習Ⅱ RMGT2602、ゼミナールⅠ RMGT4601、ゼミナールⅡ RMGT4602、ゼミナールⅢ RMGT4603、ゼミナールⅣ RMGT4604、危機管理特殊研究1 RMGT4611、危機管理特殊研究2 RMGT4612、危機管理特殊研究3 RMGT4613、危機管理特殊研究4 RMGT4614と関連があります。とくに、「ゼミナールⅠ～Ⅳ」への橋渡しの意味をもっています。 講義科目としては、セキュリティ論 RMGT3523、テロ対策論 RMGT3528、運輸保安 RMGT3533、国際法 RMGT3451、国際テロリズム論 RMGT3558と関連があります。
教科書	テロ対策を考える会『テロ対策入門』（亜紀書房、2006年）
参考書・参考URL	宮坂直史『日本はテロを防げるか』（筑摩書房、2004年） 宮坂直史『国際テロリズム論』（芦書房、2005年） 片山善雄『テロリズムと現代の安全保障』（亜紀書房、2016年） 安部川元伸『国際テロリズム』（原書房、2017年） 金恵京『無差別テロ－国際社会はどう対処すればよいか』（岩波書店、2016年）
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 火曜日5時限 それ以外の時間についてはメールにて事前にアポイントを取れば対応します。
研究比率	■危機管理領域との対応 災害マネジメント10%；パブリックセキュリティ50%；グローバルセキュリティ40%；情報セキュリティ0% ■危機管理学と法学のバランス 危機管理学80%；法学20%

